



▲戦国時代の城に様変わりした水口城資料館での撮影の様子

## 水口城資料館がドラマの舞台に 「信長のシェフ」撮影

水口城資料館周辺で7月8日、テレビドラマ「信長のシェフ」の撮影が行われ、主人公・ケン役の玉森裕太さんやヒロイン・夏役の志田未来さんをはじめ出演者、スタッフなど約50人が訪れました。

この日は、水口城資料館を浜松城に見立て、武田軍が城に攻め込んでくる場面などが撮影されました。

北橋には「逆茂木」といわれる木を組んだ柵、城内には陣幕やのぼり旗がセットされ、戦国の世に一変しました。甲冑に身を包んだエキストラの兵も大勢参加し、緊張感あふれる中で撮影が進められました。

## 水口庁舎前花壇を花いっぱい

### 佐山小学校花苗贈呈

佐山小学校の皆さんから、市制施行10周年を記念し7月14日、花の苗を贈呈していただきました。

苗は、園芸委員会の皆さんを中心に全校児童が丹精込めて育てられたサルビアやマリーゴールドなど約600株で、「花いっぱい笑顔のあふれるまちに」との思いから届けてくださいました。

これらの苗は庁舎前の花壇に植え、市制10周年を迎える秋には、見ごろを迎えた色とりどりの花で10周年のシンボルマークが浮かび上がる予定です。



▲花の苗を届けに市役所を訪れた佐山小学校園芸委員会の皆さん

## 子どもたちを安心・安全に迎えるために

### NPO法人 甲賀ユートピアネットワーク みなくち子どもの森 奉仕作業

市内の建設業関連企業を中心に組織されるNPO法人甲賀ユートピアネットワーク(山中敏男理事長)が7月22日、みなくち子どもの森の整備奉仕作業を行い、会員約45人が猛暑の中、草刈りや枝打ちに取り組みました。

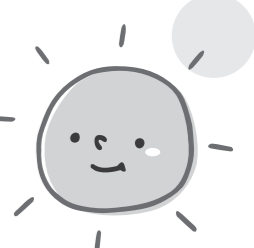
同会は、甲賀・湖南地域の環境保全や救援活動などを目的に設立され、子どもたちが安心して園内で学べる環境をつくろうと毎年清掃に取り組んでいただいています。

夏休みに入り、美しくなった同園を多くの親子連れが訪れています。



▲みなくち子どもの森の整備奉仕作業に取り組む会員の皆さん

# 元気なまちかど



## 地域の特産品作りを受け継ぐ

### 水口かんぴょう

水口地域では、伝統のかんぴょう作りが7月上旬から8月中旬にかけて行われています。原料のユウガオの果肉を幅3センチ、薄さ2〜3ミリの帯状にむき、一本一本竿にかけ天日干しをして仕上げます。

この伝統を受け継ぐと、みなくち自治振興会健康ふくし委員会が昨年度からかんぴょう作りに取り組み、7月16日には、水口中部コミュニティセンターで地域の親子が参加しての体験会が行われました。

親子は、初めての手むきに挑戦したり、かんぴょうを使ったおやつを味わったりして地域の特産品を見直す機会となりました。



▲一本一本丁寧に干されるかんぴょう(水口町梅ヶ丘)

## スポーツ少年団3チームが全国大会へ

### 水口剣道スポーツ少年団 甲賀テニススポーツ少年団 甲南剣道スポーツ少年団

スポーツ少年団3チームの全国大会出場壮行会が7月22日、甲南庁舎で行われました。

水口剣道スポーツ少年団が中学生団体の部、甲賀テニススポーツ少年団が小学生個人戦、甲南剣道スポーツ少年団が小学生団体、小中学生個人の部に計15人が出場します。

壮行会では、各団から全国大会出場までの経過と抱負が力強く述べられた後、山本教育長から「全力で戦い抜くこと、最後まで諦めないことが何より大切」と激励の言葉が贈られました。



▲全国大会出場を果たした皆さん

## ふるさとの歴史に親しむ

### 「あいの土山宿場かるた」

東海道土山宿の特徴や名物、伝説など様々な魅力が描かれた「あいの土山宿場かるた」の原画展が、8月31日まで土山歴史民俗資料館で開催されています。

かるたを通して土山の歴史を知り、郷土を大切にすることを育んでもらおうと郷土史家の高橋慶一さんが発案制作、また土山道夫さんがイラストを手掛けました。

7月26日には同館でかるたとり大会が開催され、参加した子どもたちは、46枚の絵札をめぐって熱戦を繰り広げ、楽しみながらふるさとの歴史に親しみました。



▲かるたとり大会で熱戦を繰り広げる子どもたち